



## 口和を元気にするために

福祉に関するポスターを作成・2/16

No.4

口和小4年生の「総合的な学習の時間」で、福祉に関するポスターが作成され、市に贈呈されました。

口和小学校では、総合的な学習の時間に福祉をテーマにした学習を行っており、今回「口和を元気にしたい」「みんなに笑顔になってもらいたい」との思いから、児童4人が一枚のポスターを描き上げました。

ポスターには、「八国見山」や地域の名産品のぶどうなど、地域住民にとって身近なものをモチーフにしています。

児童は「みんなで作ったポスターをたくさんの人に見てもらいたい」と話しました。

ポスターは市役所口和支所に展示されています。



▲口和支所長へポスターを手渡す児童

## 心も体もリフレッシュ

子育て支援事業「とことこ」ヨガ教室・3/12

No.3

下高自治振興センターで、子育て支援事業「とことこ」が開催され、親子10人が参加しました。

今回は、町内在住の正木杏菜さんを講師に迎え、ヨガ教室が行われました。はじめに、正木さんは「これから、この時間は何も考えないようにしましょう」と話し、参加者は正木さんの声と動きに合わせて、深く呼吸しながら、ヨガに取り組んでいました。

この日は、部屋に温かい春の日差しが注いでいたこともあり、参加した子どもが途中で寝てしまうほどリラックスした時間となりました。

参加者は「とてもリフレッシュできた。またヨガを体験したい」と話しました。



▲教室でゆっくりと体を動かす参加者

## 町内の「食」に関する便利帳

「そりょう便利帳ちょう」を製作・2/21

No.6

町内の店やサービスを紹介する便利帳「そりょう便利帳ちょう」が、総領さいたらの会により発行され、町内へ配布されました。

総領さいたらの会は、高齢者が総領地域で安心して暮らせるよう、住民主体で話し合いを行っており、その中で「衣」「食」「住」をテーマにした便利帳の作製を計画。今回は、「食」についての情報がまとめられました。

便利帳には、食料品店や移動販売など、総領町の食や日用品に関する情報が記載されています。また、「便利帳ちょう」という名前は、かわいらしく飛び交い、幸運を呼び込むといわれる蝶をイメージして名付けられました。今後は、「衣」をテーマにした便利帳も作製される予定です。



▲作製された「そりょう便利帳ちょう」

## 海の生き物がやってきた

比和自然科学博物館 公開講座・3/21

No.5

比和自然科学博物館で、公開講座「宮島水族館から磯の生き物たちがやってくる！」が開催され、午前と午後の全2回の講座に合計135人が参加しました。

講座では、まず宮島水族館の沖幸祐さんが瀬戸内海の干潟や磯に生息する生き物の生態について、写真などを使って説明しました。

その後、カブトガニやヒトデなど、海の生き物に直接触ることができるコーナーに移動し、参加者は海の生き物を恐る恐る触ってみたり、持ち上げたりしながら、体験を楽しんでいました。

参加者は「初めて見る海の生き物もたくさんいたので、とても興奮した」と話しました。



▲海の生き物に触れて楽しむ参加者

# 出前トークを ご利用ください!!

行政管理課広報統計係

☎0824-73-1159

気になる!!



### 昨年度利用メニューランキング

- 1位 庄原版終活ノート「いきかたノート」について
- 2位 高齢者の健康づくり～フレイル予防について～
- 3位 高齢者の権利を守ろう

※昨年度は新型コロナウイルスの影響により、例年どおりの実施ができませんでしたが、感染症対策を行いながら、20以上の団体約730人の皆さんに利用していただきました。

## Camera Report カメラレポート

●市内のイベントやまちの話題をお届けします。行政管理課広報統計係 ☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322



## 倉田百三ゆかりの地を看板に

倉田百三を顕彰する案内看板を設置・1/28

No.2

「百三ひろば」(庄原グランドホテル横)に、倉田百三ゆかりの地を紹介する案内看板が設置されました。

これは、本市の観光振興を目的に活動している庄原まちなか観光会議が企画したもので、本市出身の作家倉田百三を、もっとたくさんの人に知ってもらいたいとの思いが込められています。

案内看板には、ひろばの沿革をはじめ、ひろばから倉田百三生誕の地へと続く「百三小路」や近隣の文化施設などの位置が、写真やイラストとともに記載されています。

同観光会議の西田学会長は「庄原の偉大な文豪の功績を、末永く継承していきたい」と話しました。



▲高さ150センチ×横125センチの案内看板

## 本年もきれいに咲きました

福寿草 自生地的一般公開

No.1

東城町久代の為重地域で、福を招く花として知られる「福寿草」の自生地が、一般公開されています。

同地域に咲いている福寿草は、日本に自生している4種類のうちの1つ「ミチノクフクジュソウ」で、一般的な福寿草より、少し小さい花が咲くことが特徴です。長年、地域の方がボランティアで自生地の草刈りや環境整備を行っており、大切に育ててきました。その結果、本年もたくさんの福寿草が咲きました。

久代自治振興区の伊ノ木健治さんは「ことは、雪が多かったため、福寿草の開花が例年より遅くなったが、たくさんの花が咲いてよかった」と話しました。

自生地の公開は、4月中旬まで行われます。



▲福を招く花「福寿草」